

教高砂小第195号
平成29年1月10日

市立各小・中・高等・特別支援学校長 様
市立幼児教育センター付属幼稚園長 様

さいたま市立高砂小学校長 石山 大介

第45回公開研究協議会(自主発表)の開催について(最終案内)

このことについて、下記のとおり開催しますので、貴職及び関係職員の参加について御配慮を賜りますようお願いいたします。

記

1 研究主題

自己の生き方につなぐ教育課程の工夫改善
～子どもが学びを実感できる授業づくり～

2 日 時 平成29年2月3日(金) 13:00～16:45

3 会 場 さいたま市立高砂小学校
さいたま市浦和区岸町4丁目1番29号 電話048(829)2737

4 指導者 元文教大学教育学部教授 嶋野 道弘 様
さいたま市教育委員会指導主事
さいたま市立植竹小学校 鯨井 幹夫 校長
さいたま市立与野八幡小学校 金銅 孝 校長
さいたま市立浦和大里小学校 益子 聡 校長
さいたま市立大砂土小学校 引間 和彦 校長
さいたま市立上落合小学校 藤澤 太郎 校長
さいたま市立尾間木小学校 久田 富上子 校長
さいたま市立芝原小学校 豊島 登 校長
さいたま市立大宮南中学校 永妻 恒男 校長

5 日 程

受付	公開授業	全体会	分科会	講演
13:00 ～ 13:15	13:30 ～ 14:15	14:25 ～ 14:40	14:40 ～ 15:40	15:50 ～ 16:45

6 公開授業等

(1) 公開授業 (13:30~14:15)

教科等	学年・組 授業者	「単元名・題材名等」 授業の見どころ
国語科	6年4組 谷口 周	<p>伝記を読み、自分の生き方について考えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝記に描かれた人物の生き方を読み、自分のこれからの生き方について考える。人物の生き方と自分の経験や考えを比べたり関連させたりしながら、共感したところや取り入れたいところを考え「人生の道しるべとなる言葉」として表現する。 ・本時は、人物の生き方に共感するところや取り入れたいところを友達と交流することを通して明確にし、自分のこれからの生き方についての考えを深めていく。
社会科	5年4組 板橋 祐斗	<p>生活環境を守る人々</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かつては汚れていた荒川の水がどのようにしてきれいになったのかを調べ、その背景にある多くの人々の努力に迫る。 ・川の環境保全のために自分ができることを考える活動を通し、自己の生活を問い直していく。
算数科	5年3組 本川 耕	<p>比べ方を考えよう (2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの考えを数直線と式で整理し、考え方のよさに気付き、学びを深められるようにする。30%のねだんを求めた考え方が問題に対して正しいかを吟味し、“30%びきのねだん”の意味に迫っていく。 ・比べるという活動を含む適用問題を設定することで、問題を解く必要感をもたせていく。
理科	3年1組 山口 徹志	<p>物の重さをくらべよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な材料を用いたり3人組で実験したり、問題や結果に対する予想をもたせたりすることで主体的な学びの充実を図る。 ・見通しをもって体積を同じにして重さを比べる実験を行い、結果を根拠に判断し、問題を解決できるようにする。
音楽科	2年3組 北原 亮	<p>ようすを音楽であらわそう (歌唱)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験型ショップで提示された強弱について、イメージに合った表現を、友達と歌い合いながら選んでいく。 ・拡大楽譜に「歌スケッチいちじょうの葉」(低学年用強弱マーク)を掲示して子どもの思いを可視化することで、友達と一緒に学びを深められるようにする。
図画工作科	1年2組 青木 瑞歩	<p>あそびにおいてよ！ゆめのまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身の回りにある空き箱を使って「ゆめのまち」を共同して作りだすことにより、様々な表し方があることにお互い気付き、表現と鑑賞の能力を高め合う。 ・アイデアボードや小さな自分、ワークシートを使用しながら、自分で課題を設定して考えに合った材料や用具、表現を選ぶことができるようにする。
体育科	6年2組 白石 開	<p>キャッチバレーボール (ネット型ゲーム)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでに見つけてきたチームの特徴をもとに、チームの特徴に合った作戦やスペシャルプレーをゲームの中で追求していく。 ・ゲームを俯瞰的に見られるよう思考ツールを活用し、子どもの思考を可視化することで、協働的な学びの充実を図る。
自立活動	難聴・言語障害 通級指導教室 張替 和子	<p>吃音について調べよう (吃音のある子の指導)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構音操作について学び、タブレット端末 (音声波形ソフト) を活用して構音器官の軽い接触の調べ学習を行う。楽な発話のスキルを段階的に学んでいく。 ・これらの取組を通して、吃音のある子が言語面 (楽な発音)、コミュニケーション、吃音について学び、自己理解を深められるようにする。

(2) 全体会 (14:25~14:40)

研究主題

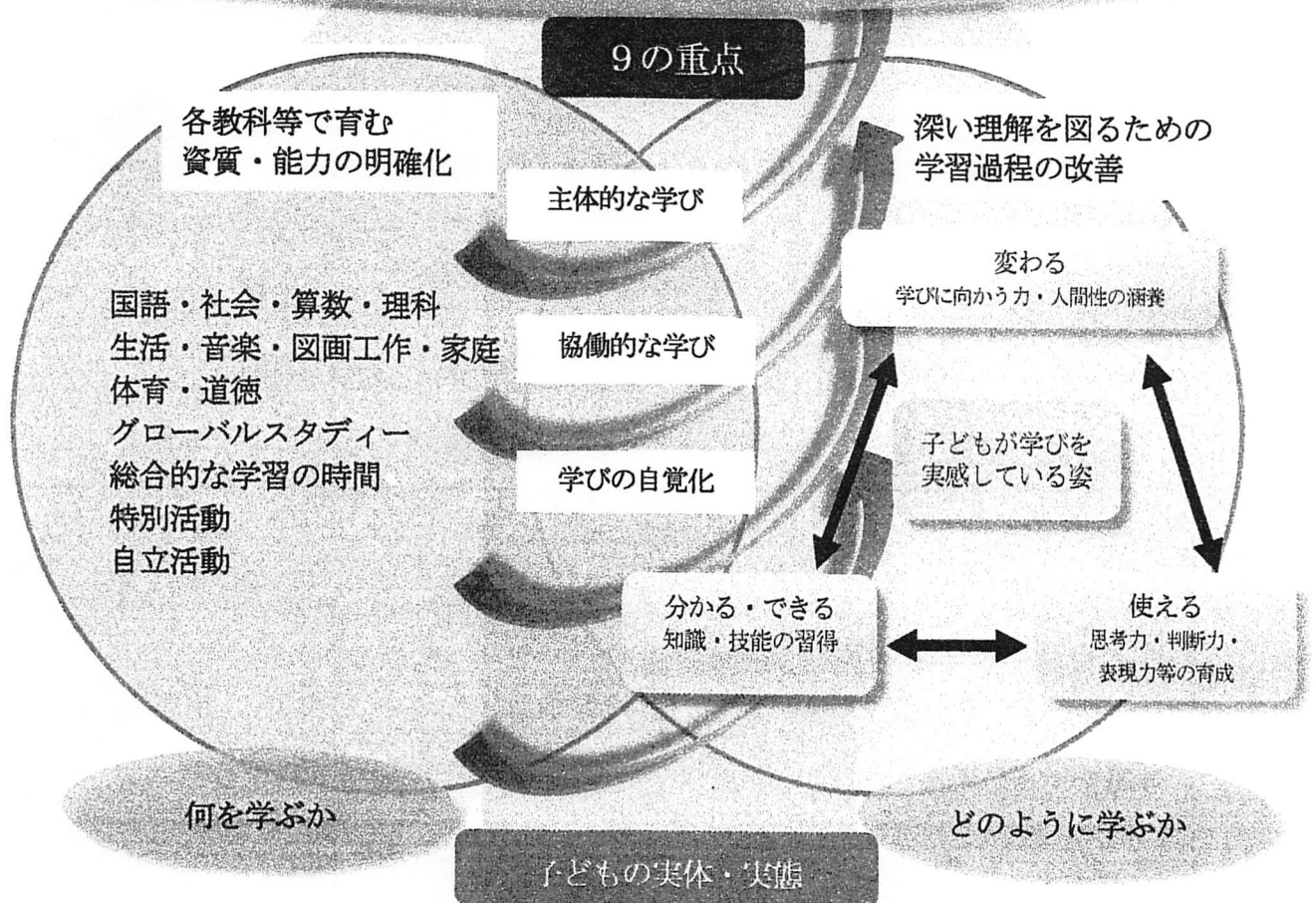
自己の生き方につなぐ教育課程の工夫改善

目指す子どもの姿

- 自分が生きていくために必要な知識・技能を身に付けている子ども
- 柔軟に思考し、問題を解決できる子ども
- 豊かに表現し、学んだことが使える子ども
- 他者、自然とかかわり、よりよい自分への変容を目指す子ども

新しい時代に必要となる資質・能力の育成

子どもが学びを実感できる授業づくり



(3) 分科会 (14:40~15:40)

3年計画の研究2年次として、国語、社会、算数、理科、音楽、図画工作、体育、自立活動（特別支援教育）の8つの各教科等パートで、「自己の生き方につなぐ教育課程の工夫改善」に取り組みました。学習活動において、「主体的な学びの充実」「協働的な学びの充実」「学びの自覚化」の「3つの学び」を中心に、「子どもが学びを実感できる授業づくり」の具現化に向けて授業研究を積み重ねてきました。

教科の特質や教材の本質に触れること、他者とかかわりや生活とのつながりに気付くこと、これらを通して、学習の成果から達成感を覚え、学んだことを自覚する子どもの姿を具体化し、8教科等パートを横断する「汎用的能力」について考え、「自己の生き方につなぐ教育課程」を工夫改善していきます。分科会では、各教科等パートからの提案と、公開授業についての協議を行います。

(4) 講演 (15:50~16:45)

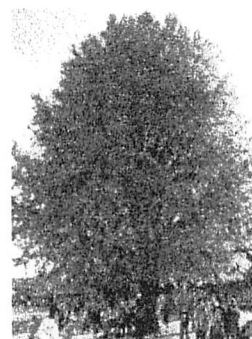
授業改善への挑戦

講師 元文教大学教育学部教授 嶋野 道弘 様

7 交通案内 JR浦和駅(京浜東北線・宇都宮線・高崎線・湘南新宿ライン・上野東京ライン)西口より徒歩3分
※駐車場はありません。公共交通機関等を御利用ください。

8 その他 ・申し込まれる方は、申し込み用紙に記入の上、FAXにて送信ください。なお、当日参加も受け付けます。
・資料代は1,000円です。当日、受付にてお支払いください。
・本校ホームページ(<http://takasago-e.saitama-city.ed.jp/index.html>)も御覧ください。

9 備考 本研究発表会の開催は、さいたま市教育委員会(平成28年10月3日付け教指1第5324号)により承認済みです。



第45回 公開研究協議会参加申し込み用紙

さいたま市立高砂小学校 行

FAX番号048(835)1260

学校名									
所在地	〒 ー								
連絡先	TEL () ー				FAX () ー				
職名	氏名	参加予定分科会名(○をお付けください)							
		国語	社会	算数	理科	音楽	図工	体育	自立
		国語	社会	算数	理科	音楽	図工	体育	自立
		国語	社会	算数	理科	音楽	図工	体育	自立
		国語	社会	算数	理科	音楽	図工	体育	自立
		国語	社会	算数	理科	音楽	図工	体育	自立